

『近衛 忠輝 社長が佐野常民記念館を訪問！』

7月24日(日)、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の会長を務める 近衛 忠輝 日本赤十字社社長が、佐野常民記念館を訪問しました。

ご存じのとおり 佐野 常民 は、佐賀県が生んだ郷土の偉大な先覚者であり、日本赤十字社の創設者（初代社長）であります。

また、日本赤十字社の創設以外にも、医学、蘭学、化学、造艦術、航海術、砲術など、様々な分野で当時（幕末～明治初期）の最先端の知識・技術を学ばれ、確かな先見性と人並み外れた行動力で、多くの偉業を達成されています。



小学生ボランティアの説明を聞く近衛社長

その偉業の数々を再確認された近衛社長は、記念館近くの佐野常民生誕の地にも足を運ばれました。

記念館や生誕の地（記念碑）の管理と運営については、地元川副町のボランティアの方々の手厚いご支援を得ており、社長から日頃の御礼と感謝のことばがありました。

23日(土)の新唐津赤十字病院竣工式典を機に、佐賀県に来訪された近衛社長は、24日(日)支部ユースボランティアとの交流会、徴古館訪問、そして佐野常民生誕の地川副町のボランティアの方との交流などを通して、佐賀県内における赤十字の歴史と伝統をつぶさに確認いただき、同時に赤十字関係者にとって、今後の活動への大きな励みとなりました。



佐野記念館ボランティアの方々



佐野常民生誕の地(記念碑)



川副町ボランティアの方々

※ この件に関する Facebook ページはこちら。

<https://www.facebook.com/jrcsaga/>